

一般社団法人 巨樹の会 明生リハビリテーション病院 季刊誌

スマイル

Smile with your heart



Contents

- P2 ● 第13回関東学術合同研究大会
 - P3 ● 褥瘡勉強会 / ふれあい看護体験
 - P4 ● 夏祭り / 三ヶ島健康祭り
 - P5 ● りらいふ便り
 - P6 ● 消防訓練 / 健康教室 / 職員コメント
 - P7 ● 連携室かわら版
- 看護師募集 / 看護補助者募集の案内
ホームページのご案内

Vol.
35

2019



第13回関東学術合同研究大会

第13回関東 KG 学術大会が久喜総合文化会館にて行われました。今回は感染に対する取り組みをテーマとし、16演題が行われました。汚れの可視化による洗浄方法の改善、衛生的手洗いの遵守率を上げる為の試み、回復期リハビリテーション病院職員を対象とした麻疹、風疹抗体価測定等様々な演題がありました。また、所沢明生病院の安岡先生による特別講演「骨まで強くする病院グループを目指して～当院骨粗鬆症リエゾンサービスチームが IOF 銀賞を受賞するまでの軌跡とこれからの展望～」を講義して頂きました。骨粗鬆症、感染に対する意識を見直す良い勉強となりました。

リハビリテーション科



褥瘡対策勉強会

令和元年10月2日 阿伎留医療センター 皮膚・排泄ケア認定看護師の滋野幸絵様に、お越し頂き、褥瘡対策の勉強会を開催しました。

皮膚の基礎・スキンケア・褥瘡予防と、実演を交えてのポジショニングなどの講義を聴く事が出来ました。『褥瘡に関する知識の再確認ができた。』『実演がとても解りやすかった。』などの高評価でした。今回学んだことを、日々の臨床の現場で活かし、褥瘡予防に取り組んでいきます。

褥瘡委員会



ふれあい看護体験

2019年7月30日に当院でふれあい看護体験を行い、近隣の高校生5名が参加致しました。当日は、血圧測定や聴診器を使用しての心拍音を聴いたり、車椅子の体験等と、初めての経験に興味を持って取り組んでいただきました。参加者の高校生からは「看護についての色々な話もできて良かった」との感想がありました。担当看護師、参加者ともに充実した1日となりました。

看護部 長倉



夏祭り

当院では8月4日(日)に夏祭りを開催しました。病院の約2/3以上の患者様とそ
のご家族様が参加されました。ゲームの中でも射的は特に盛り上がり、常時行列が
出来るほどでした。私は初めて夏祭りに参加しましたが、普段離床の少ない方も参
加されるなど、活気あふれる空間があって、とても良いイベントだったと思います。
また、音楽や飾りつけなど雰囲気作りから夏の雰囲気を感じられる事は患者様にとっ
ても刺激になったと思います。

リハビリテーション科 柴田



みかじま健康まつり

5月19日に三ヶ島健康祭りに参加してきました。今回の祭りでは所沢市三ヶ島地区の医療機関、地域包括、居
宅介護支援事業所の方が参加していました。準備・運営
片付けを通して、地域で働く医療・介護職の皆様との情
報交換をし、地域との横の繋がりを形成することが、で
きました。今後も他施設とも連携していけたらと思いま
す。当日の運営では三ヶ島地区の方が多くいらっしゃり
ました。私は血圧測定ブースを担当し血圧を測定しつ
つ理学療法士として地域の方に対して健康意識が高まる
よう声掛けをして参りました。今後も地域に目を向けて
業務に取り組みたいです。

来年はより多くの方のご来場お待ちしております!!

一緒にお祭りを盛り上げましょう!!

リハビリテーション科 野口





りらいふ便り

令和元年
夏号



認知症の『駆け込み寺』



『りらいふ』はこの9月で8年目を迎えることになりました。
ここまで来ることができたのも皆様のおかげだと感謝しております。

平成から令和に変わった今年度から『りらいふ』では、ご家族様や近隣住民の方々などを対象にした『家族会』を年4回開催しております。また同法人の『山口地域包括支援センター』と共催することで更なる内容の充実と地域貢献を果たすことができればと思っております。

認知症の方を介護する上で困っていることや不安に思っている方の『駆け込み寺』のような存在になれるよう取り組んで参ります。

年間スケジュールは下記のとおりです。どなたでも参加可能です。参加を希望される方はぜひご連絡ください。



茶和会の様子



山田医師による講演の様子



空き状況

令和元年9月10日現在

曜日	空き	活動状況
月	○	陶芸と絵手紙を行っています。陶芸で世界でひとつだけの器を作ってみませんか?楽しいですよ!
火	○	音楽では、歌ったり、体を動かしたり、笑ったりと気楽に楽しめませう。講師もとても明るい楽しい先生です。
水	◎	ちぎり絵は「睡蓮」の題材とした作品に取り組んでいます。涼しげで風情ある作品です。途中参加もOKですよ!
木	◎	書道は、楷書と行書をおこなっています。漢字の成り立ちや書き順も教えてくれるので勉強になりますよ。
金	○	陶芸や手芸、フラワーアレンジメントなど創作活動を中心に行っています。とても活気があり、賑わっています。
土	○	和太鼓の日は、一日を通し常に動いています。楽しみながら、活動量もあげられるので一石二鳥です!

◎: 空きは十分にあります。 △: お問い合わせください。
○: 空きはあります。 ×: 空きはありません。

『家族会』 年間スケジュール

月	イベント	
5月	★活動報告 ★茶話会	5月はりらいふで行っている芸術活動の見学・体験も実施しています。和太鼓、音楽、陶芸、フラワーなど、ご利用者様が認知症予防のために参加している活動の見学・体験をしてみましょう。
8月	★活動報告 ★茶話会	
11月	★活動報告 ★茶話会	11月は認知症講演も実施しています。日本認知症学会認定専門医の山田達夫医師を迎えて認知症に関する講演を行います。認知症の予防や対応についてしっかり学ぶことができます。
2月	★活動報告 ★茶話会	

随時、ご見学・ご体験を受け付けています。
お気軽にお問い合わせください。



デイサービス りらいふ
TEL:04-2928-7677 担当: 清水・大木

『消防訓練』



令和元年7月25日(木)に消防訓練を行いました。
今回は夜勤帯を想定とした消防訓練と地震体験を行い、
消防訓練では実際に非常ベルを鳴らし、各職員が通報連絡・避難誘導・初期消火の訓練を行い、その後、消火器の取り扱い方法を学びました。地震体験では起震車に乗り震度7の地震を体験しました。震度7になると立つことすら困難で地震の恐怖を改めて感じる事ができました。

万が一に備え、職員全員が速やかに対応できるように努めていきたいと思っております。



総務課 高倉

第89回健康教室

令和元年9月28日(土)に第89回健康教室を開催しました。今月の内容は低栄養について栄養士からお話を頂きました。自分のBMIがどれくらいなのかを計算したり、自宅に帰ってからどのような食事を摂ると良いのかなど詳しい説明でとても分かりやすかったとの声を頂きました。



リハビリテーション科 若月

2階病棟職員紹介



2階病棟 介護福祉士
荒井

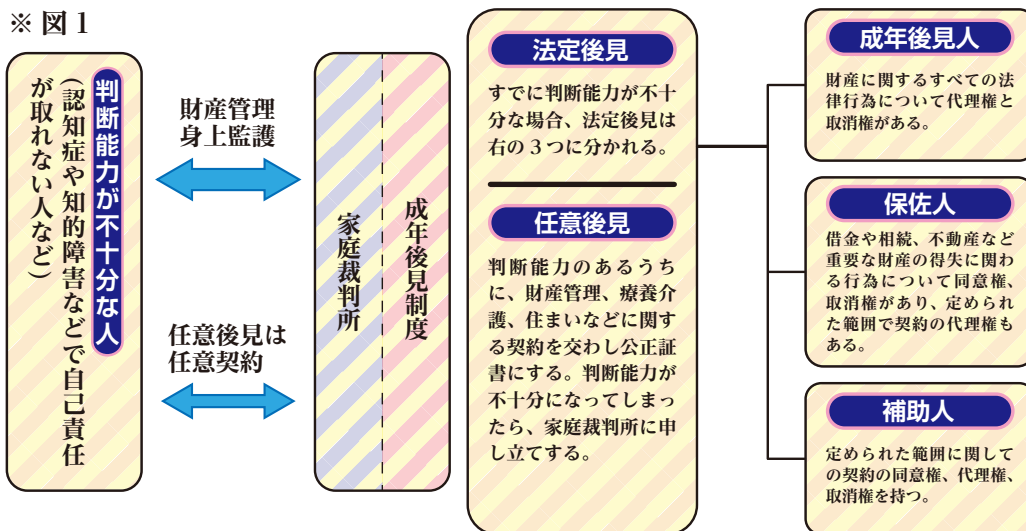
介護福祉士 5年目の荒井です。東日本大震災をきっかけに、スーツを脱ぎ捨て介護業界に入ってから、8年経ちました。日々の業務では、患者さんの生活全般をサポートさせてもらっています。私は特に患者さん1人ひとりにお声かけし、会話をすることを大切にしております。また、バスケットボール好きが集まった、院内サークルにも積極的に参加したり、有志による、彩の森クロスカントリーにも出場し、交流を深めています。

★認知症の親の「財産管理」のやり方は？★

1 病気や認知症の人のための「成年後見制度」

例えば、娘が成年後見制度を使って認知症の母親の後見人になると、母親の財産を管理できるようになります。成年後見制度とは、病気や認知症などで判断能力が不十分な人に代わって「財産管理」や「身上看護」ができる制度です。認知症の母親の財産管理をするためには、家庭裁判所に「娘の私が母親の後見人になりたい」と、申し立てをします。申し立てができるのは**本人、配偶者、4親等内の親族**です。本人が申し立てをするのが不安な場合は、司法書士や弁護士、社会福祉士などの専門家も申し立てができます。家庭裁判所はこの人が後見人としてふさわしいかどうか一切の事情を考慮して可否を決めます。法定後見には「成年後見人」「保佐人」「補助人」(※図1)のランクがあり、認知症で判断がまったくできない母親なら、娘は母親の「成年後見人」、母親は娘の「被後見人」となり、娘の権限で母親の預金の出し入れや、母親名義の不動産を売ってお金に代え、そのお金で介護施設に入れることもできるようになります。成年後見人になった娘は、今後、母親のお金を使うにあたり、どのような目的でいくら引き出したかなど、あとあと説明ができる記録を残しながら財産管理をすることになります。

※ 図1



成年後見人制度についてのご相談は各市区町村の地域包括支援センターになります。詳しくは担当窓口にお尋ねしてみてください。



地域医療連携室 永山

